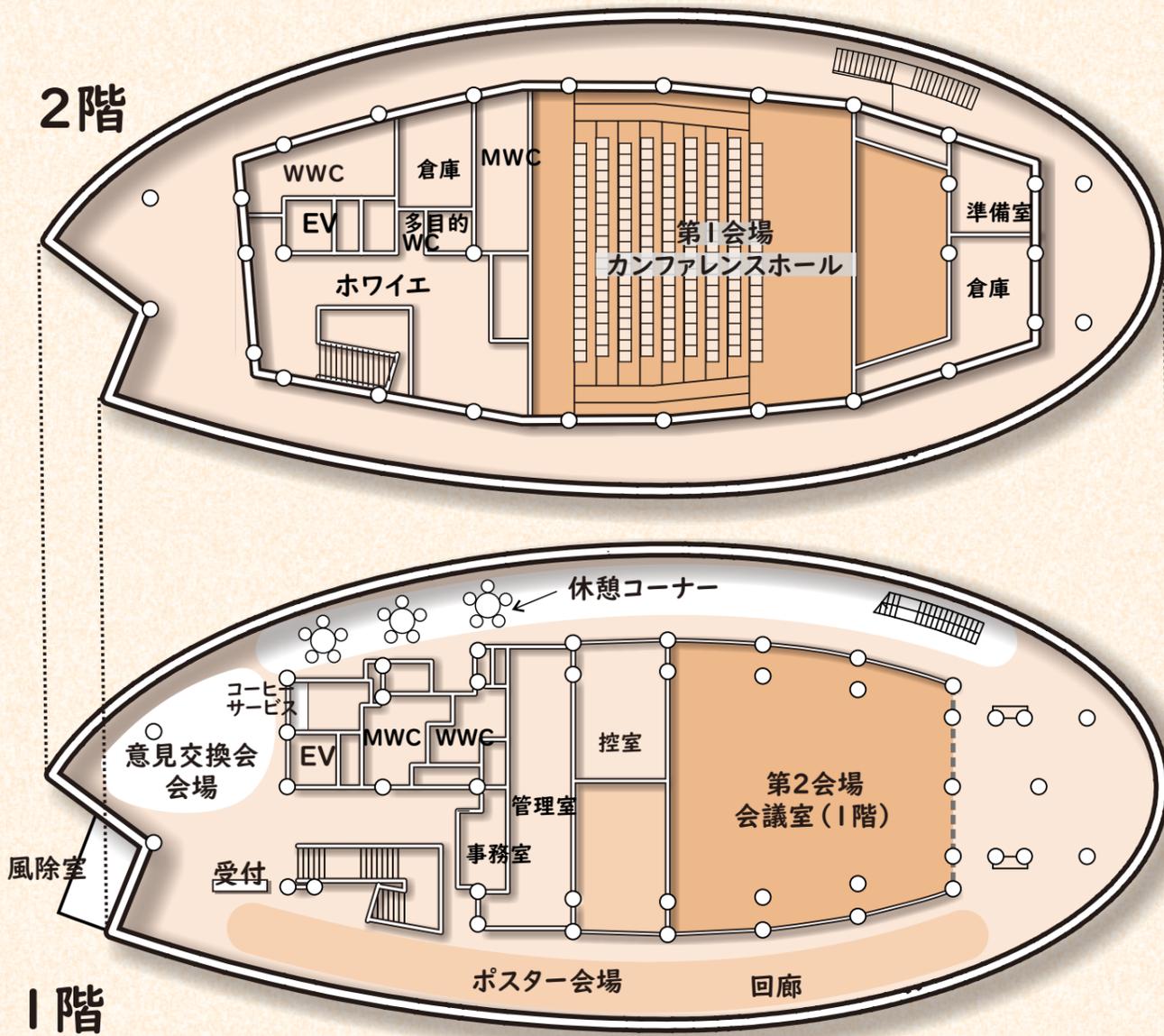


野依記念学术交流館



-2-

座長 門松 健治
 予防早期医療創成センター長
 医学系研究科長 教授

10:35
 ~11:25

超高齢社会への対応
 - 社会保障制度改革の視点 -

経済産業省 商務サービスG 政策統括調整官
 兼 厚生労働省 医政局 統括調整官
 兼 内閣官房 健康・医療戦略室 次長

江崎 禎英 氏
 (えさき よしひで)

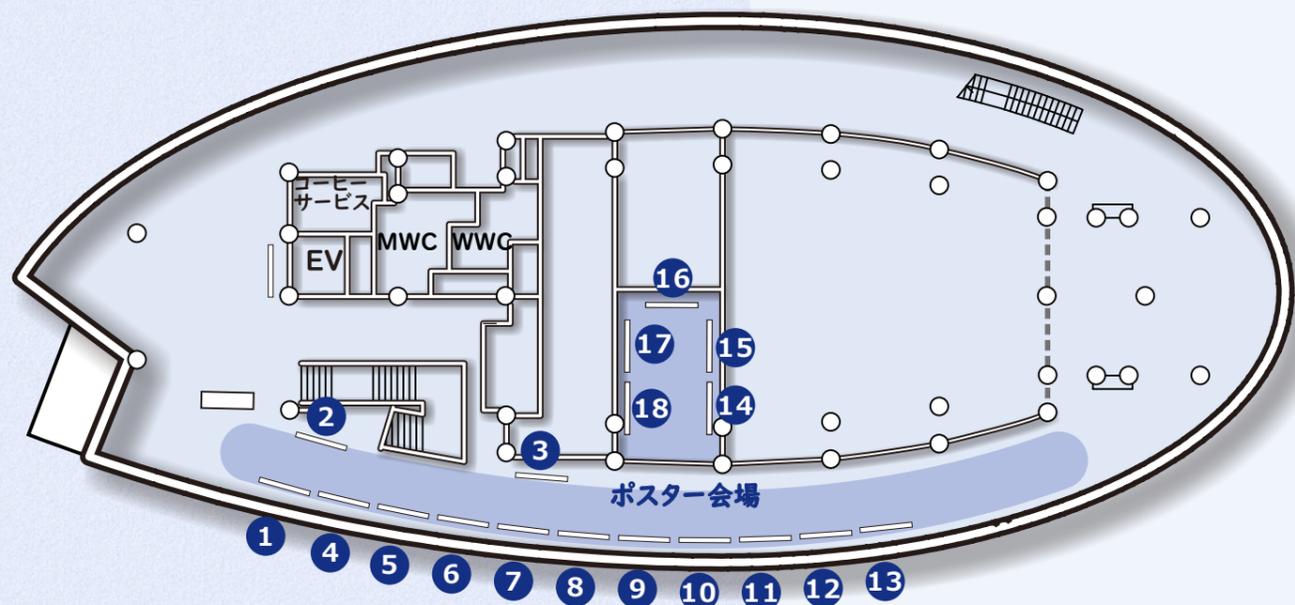
「人生100年時代」と言われる現在、如何に最期まで幸せに「生ききる」かが重要なテーマであり、誰もが年齢や体力に応じて社会の一員としての役割を果たすことが出来る「生涯現役社会」を構築することが求められる。

他方、医療費の約3分の1は生活習慣に起因するとされており、重症化予備群の行動変容を実現する効果的なアプローチが必要である。

特に、ビックデータへの過度の期待から脱却し、本人性が確保された質の高い健康・医療情報(クオリティデータ)の収集・活用によりAI(人工知能)やIoTを用いた適切な指導・介入のためのツールや仕組みを整備することが求められる。



■ ポスターセッションレイアウト(1階回廊)



ポスターセッションは13:00から14:00运行します。コーヒーサービスも併せてご利用下さい。

■ ポスターセッション

No.	タイトル	発表者
1	予防早期医療創成モデル	名古屋大学 予防早期医療創成センター
2	医療、ヘルスケア分野のモバイル連携とAIによるデータ活用	日本システムウェア株式会社
3	学習者に"共感"する教育支援ロボットの開発	名古屋大学大学院工学研究科 情報・通信工学専攻 吉川大弘
4	SmartBANを活用したバイタルセンシングとその応用技術	帝人(株) スマートプロジェクト推進班 ¹⁾ 東芝デベロップメントエンジニアリング(株) ²⁾ 鈴木真吾 ¹⁾ 、松野孝也 ¹⁾ 、齋藤龍則 ¹⁾ 小森達也 ²⁾ 、佐保里美 ²⁾
5	健診結果を活用した動機付けによる行動変容について	株式会社エヌ・エイ・シー
6	食の好みの左派右派と社会的分断	名古屋大学大学院情報学研究科 笹原 和俊

■ ポスターセッション

No.	タイトル	発表者
7	朝食を抜くと体内時計の異常が生じて体重が増加する	名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 栄養生化学研究室 金多恩、清水初実、孫淑敏、小田裕昭
8	砂糖過剰摂取による脂質代謝異常は時間制限摂食により軽減される	名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 栄養生化学研究室 孫淑敏、小田裕昭
9	日本の美しい食文化を未来へ伝える「educe食育」への取り組み紹介	一般財団法人 日本educe食育総合研究所 株式会社 ミールケア 丸山寛典、湯川泰行、広瀬功治
10	人工膝関節レイアウトが衝撃伝達に与える影響	名古屋大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻 バイオメカニクス研究室 村瀬 晃平
11	ラクオリア創薬産学協同研究センターにおける創薬研究	ラクオリア創薬株式会社
12	皮膚表面の質量分析:常在菌と脂質	島津製作所 寺本華奈江、児嶋浩一、関谷禎規、岩本慎一、田中耕一
13	がんシステムの俯瞰的攻略に向けたデータ駆動型アプローチの開発	名古屋大学大学院医学系研究科 インテリジェンスヘルスケア研究室 松井佑介
14	非環状型人工核酸を活用した機能性核酸の開発	名古屋大学大学院工学研究科 生命分子工学専攻分子生命化学講座 浅沼研究室
15	筋萎縮治療薬開発を目指した96穴プレート筋収縮力デバイスの開発	名大院・工 ¹⁾ ・名大・予防早期医療創成センター ²⁾ 大隅早紀 ¹⁾ 、清水一憲 ¹⁾ 、本多裕之 ^{1,2)}
16	エクソソームを基軸とした糖尿病性腎症の新規バイオマーカー探索	名大院生命農 ¹⁾ 、名大ITbM ²⁾ 、名大未来社会 ³⁾ 、東大院農生 ⁴⁾ 神谷孝平 ¹⁾ 、桑田啓子 ²⁾ 、吉武淳 ³⁾ 、内田浩二 ⁴⁾ 、柴田貴広 ¹⁾
17	炎症抑制への利用をめざしたシアル酸認識レクチンの機能解析	名古屋大学大学院工学研究科 生命分子工学専攻 生命システム工学講座 遺伝子工学研究グループ 西島謙一、金岡英徳
18	尿中D-セリンの測定と腎疾患バイオマーカーとしての可能性	名古屋大学生命農学研究科 応用酵素学研究室